



国際メンタリング・ワークショップ Joshikai in Fukushima 2022 結果概要

2022年9月

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

開催概要

◆ 日程：

2022年7月23日(土)・24日(日)・25日(月)

◆ 場所：

日本原子力研究開発機構 楯葉遠隔技術開発センター
(福島県双葉郡楯葉町)

◆ 共催：

経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)



◆ 参加者：76名

	生徒	メンター	特別講演	来賓	オブザーバー※
国内	36	5	2	2	21
海外	0	4			6
	36	9	2	2	27
					※引率+NEA+NDF

◆ 生徒内訳：

福島県内	19	国立	1 福島高専
		県立	16 磐城桜ヶ丘、磐城、 会津学鳳、原町、安積、 安積黎明、須賀川桐陽
		私立	2 郡山女子
福島県外	17	県立	17 茨城3、福井4、東京2、 埼玉1、大阪7





テーマ 理工系分野での私の未来を考える

Why are STEM careers so important today and towards building our future?

プログラム 自分について考える3日間でした。

- ◆DAY 1 (7月23日 (土))
 - 基調講演
 - 福島レクチャー
 - メンター講演
 - グループディスカッション
 - JAEA 楢葉施設内視察及び特別講演
- ◆DAY 2 (7月24日 (日))
 - グループディスカッション (メンター交代)
 - グループ発表
- ◆DAY 3 (7月25日 (月))
 - 希望者による1F視察 (オプションツアー)

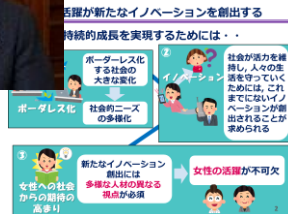


JAEA 楢葉遠隔技術センター



基調講演

国内外の共同議長より、女性の理工系進学、理工系分野で働くことについての現状と今後の課題、女性が活躍していける社会についてお話しをしていただきました。



国内共同議長：室伏 きみ子（お茶の水女子大学名誉教授）
「未来を拓く女性の力～科学技術・学術分野における女性たち～」

理工系女性の推移や、活躍度と経済効果の関係など、女性の理工系分野での活躍の重要性をデータで示し、理工系分野での活躍の後押しをいただきました。

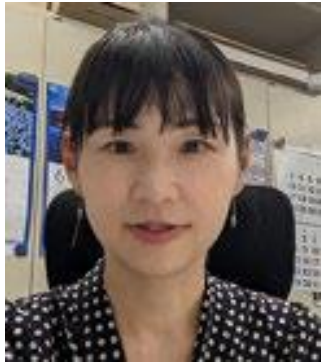


海外共同議長：フィオナ・レイモン
（国立原子力研究所 主席科学技術オフィサー／英国）
“Me, STEM and Nuclear”

自分のキャリアを考える上で、自分自身についての発見を大事にすること、自分が好きなこと、興味のあることを大事にして自分の限界を広げていくことが将来に繋がることを、ご自分の経験を交えてお話しいただきました。



特別講演1 福島レクチャー



経済産業省資源エネルギー庁
原子力発電所事故収束対応室 調整官（国際担当）
田辺 有紀



東京電力福島第一原子力発電所事故発生時は小学校入学前だったJoshikai参加者向けに、事故原因から廃炉の作業内容と進捗について、「使用済み燃料の取り出し」、「デブリ取り出し」、「汚染水対策」、「廃棄物処理」の4つにフォーカスして、分かりやすく解説いただきました。

福島復興については、避難指示解除、常磐線開通や漁港再開等の説明とともに、安全・数値・数について考えるきっかけにして欲しい、と被ばく線量及び食の安全について具体的な数字で説明いただきました。

このレクチャーをきっかけに、福島の問題＝日本の課題として、原子力発電所の廃炉について、福島の抱える問題・課題などを改めて見つめ、向き合う時間を持つことを目指しました。



共同議長代理・メンター講演（国内メンター）

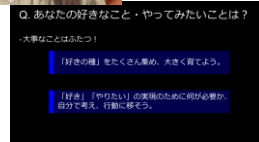
国内外のメンターより、「理工系を選択された理由」「現在の仕事について」「女性が理工系を選択し、社会で働いていくこと」などについてお話しいただき、これから社会にはばたく参加者へ向けて、アドバイスやエールをいただきました。



科学技術振興機構（JST）
シニアフェロー
渡辺 美代子



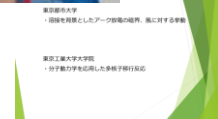
東京大学大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻
小泉研究室博士3年
秋山 茉莉子



お茶の水女子大学
ジェンダー・イノベーション研究所
特任教授
佐々木 成江



東京電力HD(株)
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
プール燃料取り出しプログラム部
石井 葉子



メンター講演（海外メンター）



海外のメンターからは、女性の社会進出や取り巻く環境、生活等についての日本との違いも学びました。



経済協力開発機構(OECD/NEA)
原子力科学・教育課長
タチアナ・イヴァノヴァ



GE HITACHI
副社長・カナダSMR事業担当
リサ・マクブライド



アラブ首長国連邦原子力規制庁
(FANR)
上級原子力安全評価スペシャリスト
ジャミラ・アル・スワディ





来賓挨拶



復興大臣
福島原発事故再生総括担当 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）
西銘 恒三郎

世界トップレベルのメンターとの対話という機会を生かし、
今後の日本を引っ張って欲しい、との励ましのお言葉をいただきました。



福島県教育委員会教育長
大沼 博文

女性が研究開発に関わることが、イノベーションが生まれる可能性が広がることに繋がる、
と、今後の理工系での活躍に期待が寄せられました。

ワークショップ



グループ・ワーク

8グループに分かれ、メンター講演を聞いて感じたことやメンターへの質問などを交え、グループディスカッションを行いました。
理工系分野での女性の働き方、自分の将来等について自分の考えを深めました。

グループディスカッション (1・2日目)

2日目はグループ構成員はそのままで、メンターの交代を行い、全員が国内・海外メンターと直接話す機会を設けました。

事前に、聞きたいこと・自分の考えをまとめ、ワークショップに臨みました。
各分野で活躍されているメンターと直接お話しのできる貴重な体験となりました。

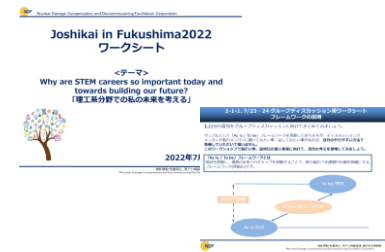


初めて顔を合わせたメンバー、海外メンターとも積極的に関わりあい、意見を発信しました。

グループ発表に向けて意見をまとめます。



Joshikai2022 ワークシート



発表 (2日目)

各グループで行われたディスカッションをまとめ、1グループ10分で発表しました。

1人ずつ感想を述べたり、模造紙を活用したり、寸劇風など、各グループの個性が出ました。



女性が社会で活躍していくために必要な問題についてディスカッションをしました。

「福島」について考えることから派生して再生エネルギーや原発について考えました。



英語での発表にも挑戦。

参加後には、日本語と英語で感想レポートの提出がありました。



英語レポートは海外メンターに届けました。



特別プログラム 1

今年は4つの特別プログラムを行いました。

1. JAEA楡葉センター内施設見学

原子炉の中をVR体験したり、モックアップ施設及び遠隔操作ロボットの説明を受けたりと、廃炉に関わる最先端技術に触れました。

見学後は、廃炉作業の進捗や今後の作業について活発な質疑応答が行われ、廃炉への理解を深める時間となりました。

炉内VR体験



2. 特別講演2



Virtual Joshikai in Fukushima 2021のメンターの岩渕美咲さん（東京電力HD(株) 福島第一廃炉推進カンパニー 燃料デブリ取り出しプログラム部 遠隔オペレーションPJグループ）より、今取り組んでいる、デブリ取り出しに向けた遠隔操作ロボットについての説明をしていただいた後、ご自身の経験・経歴等について講演いただきました。



特別プログラム 2

3. 先生レクチャー



グループディスカッションの裏で、マグウッドOECD/NEA事務局長及び山名NDF理事長と、引率の先生方で、意見交換の時間を持ちました。山名理事長からは「原子力だけではない理工系への興味喚起が目的である」こと、マグウッド事務局長からは、「チャンスの重要性、You can do it.を学んで欲しい」との話がありました。

4. 東京電力福島第一原子力発電所（1F）視察

希望者によるバス乗車での1F構内1周コース視察を行い、福島レクチャー、JAEA視察で学んだことを実体験しました。視察後は東京電力職員との質疑応答がありました。

高台では降車して記念撮影。



第6回福島第一廃炉国際フォーラム



第6回福島第一廃炉国際フォーラム



大熊町公式マスコット
キャラクター
「まあちゃん」

2022年8月28日（日）に福島県大熊町で開催された
NDF主催「第6回福島第一廃炉国際フォーラム」にJoshikai 2022の代表者2名が登壇し、
1F廃炉と福島復興に関するパネルディスカッションに参加しました。



渡辺美代子先生に、Joshikai共同議長代理として
登壇いただき、Joshikai 2022の成果発表を
していただきました。

廃炉関係者とのパネルディスカッションに参加、
福島と廃炉について意見交換を行いました。



ディスカッション内容は、グラフィックレコーディング
にまとめます。



ワークショップ事後アンケート

Joshikaiに参加したことで不安を抱えつつも、希望する進路が見えてきたり、社会人になることへの期待が高まったりと、メンタリングの効果が見られました。

また、海外メンターとの対面対話で、海外への興味、英語習得への意欲が見られました。福島レクチャー、施設見学を通して1F事故及び福島への理解も深まりました。

<参加して最もよかったこと>

- 理系選択への自信が持てた
- 自分の将来について考えを深めることができた
- 社会に自分がどのように貢献できるかを考えるきっかけになった
- 英語でのコミュニケーションに挑戦できた
- 原子力について学べたこと
- 福島の生徒との交流で、現状を知ることができた



<メンターから学んだこと>

- 行動力と質問力
- やる気と努力
- 選択肢は沢山あり、一つに絞らなくてもよい
- 福島の現状



<自分自身について発見したことは？>

- 海外留学などで、広い視野を身につけたいと思った
- 就職ではなくて、起業したいと思うようになった
- 理工系へ興味があるという気持ちを大切にしようと思った
- 原子力関係が候補の1つになった

アンケート

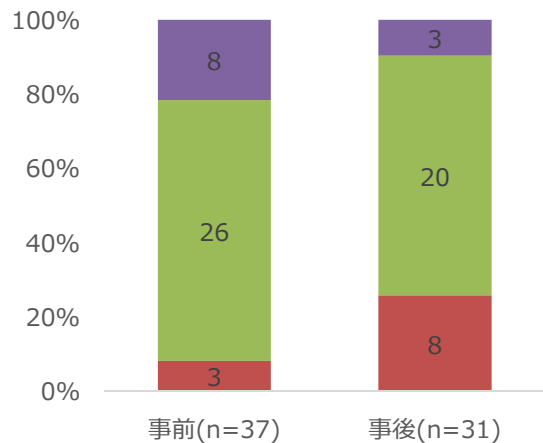


(参考)
事前・事後効果測定アンケート ※集計数に違いあり

【進路について】

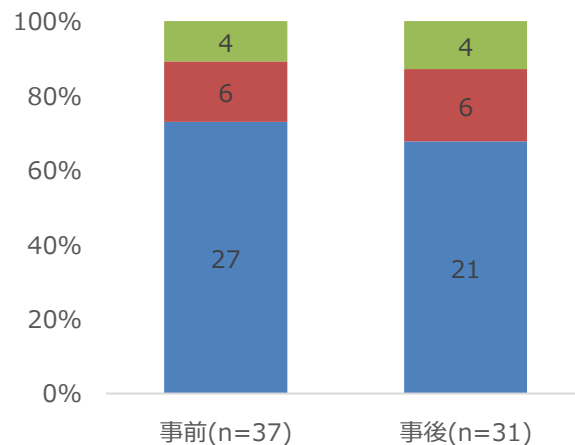
不安が

■ 全くない ■ 特にない ■ ある ■ 非常にある



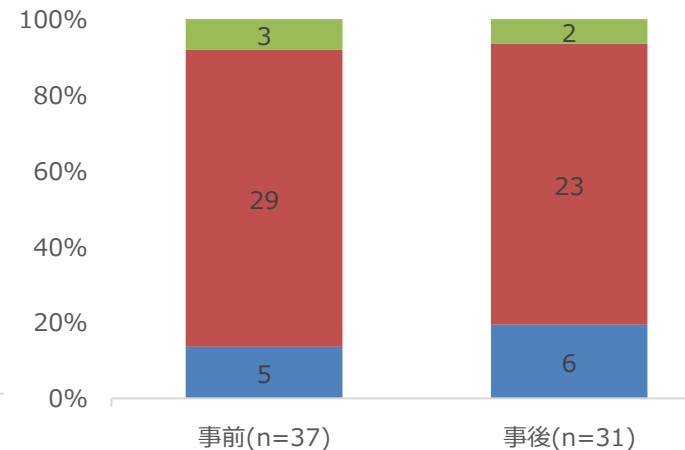
不安な原因は

■ 学力 ■ 経済力 ■ なりたい職業の情報不足



将来の夢が

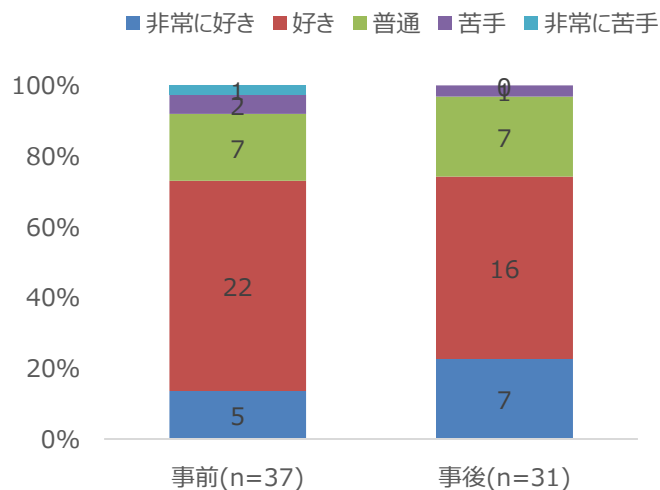
■ 何もない ■ ある程度イメージがある ■ 明確にある



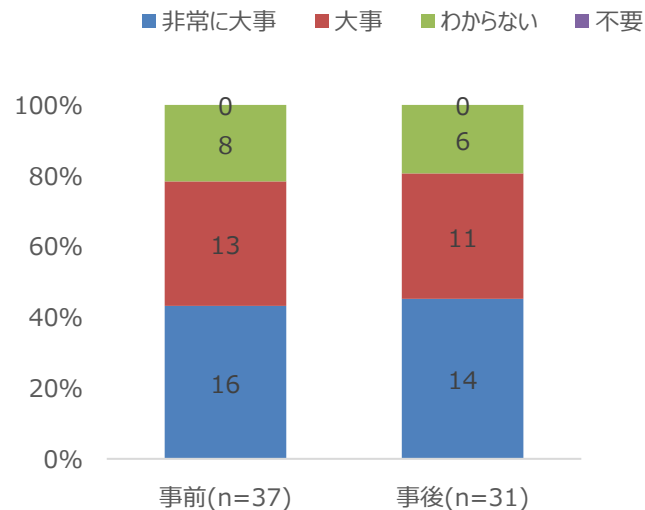
アンケート

【理系科目について】

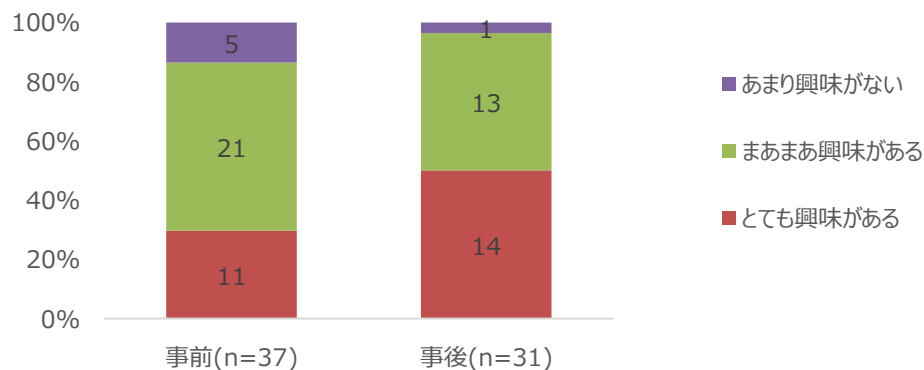
現在理系教科が



自身の将来に理系科目は

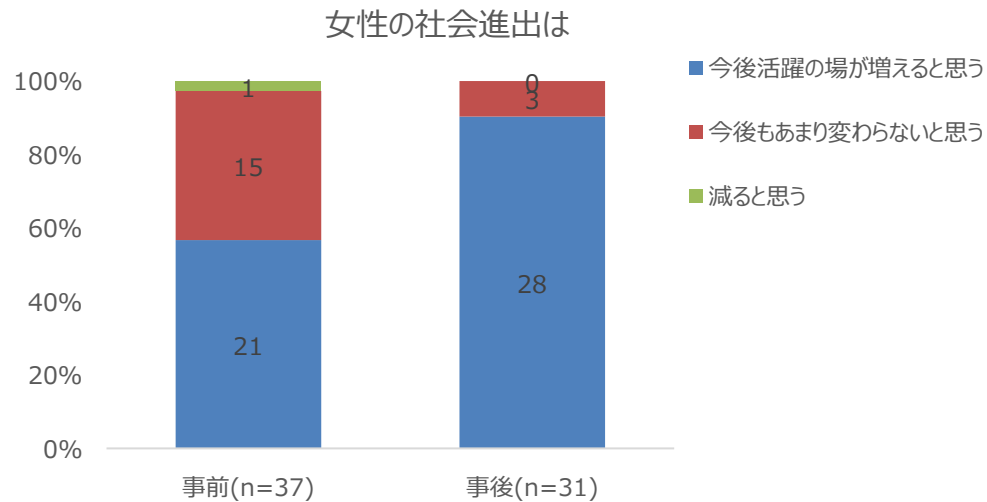
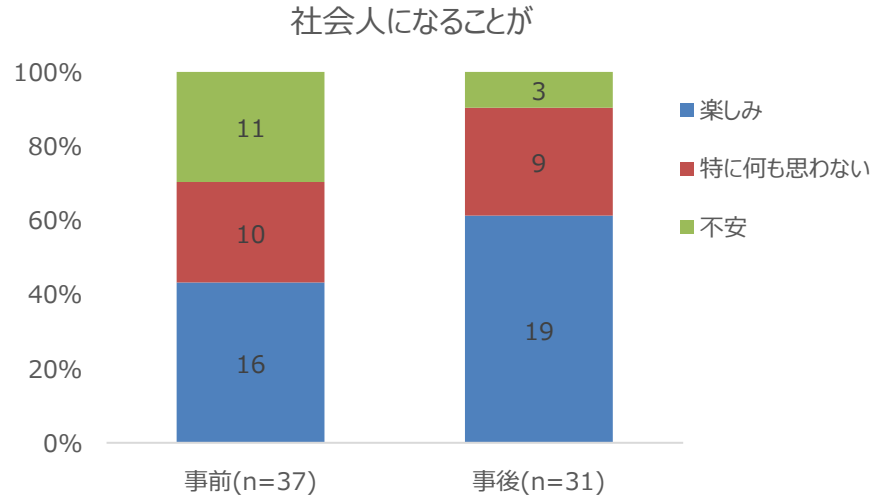


原子力分野で志を同じくする女子学生と若い女性専門家のネットワークに参加することに興味がありますか？



アンケート

【女性と社会】



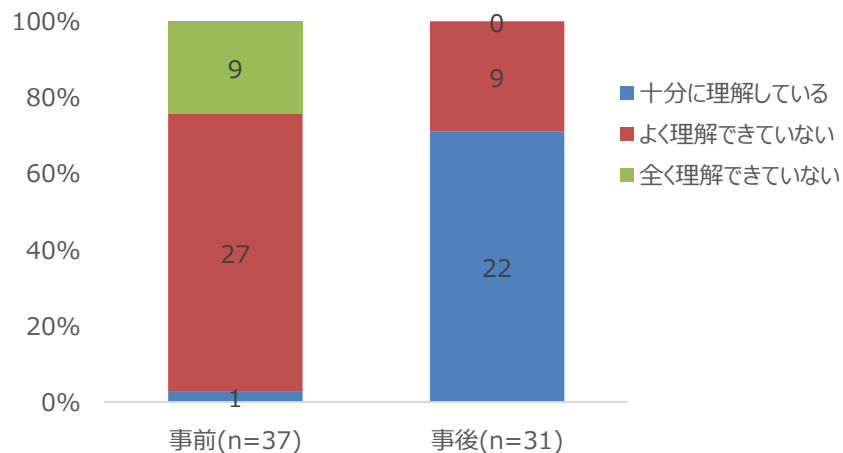
Joshikaiの合言葉は
"We can do it!"



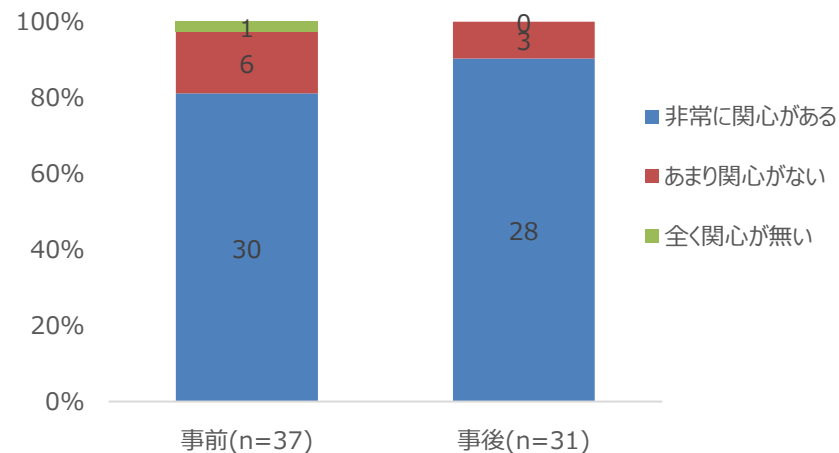
アンケート

【福島の復興および社会と科学的知識について】

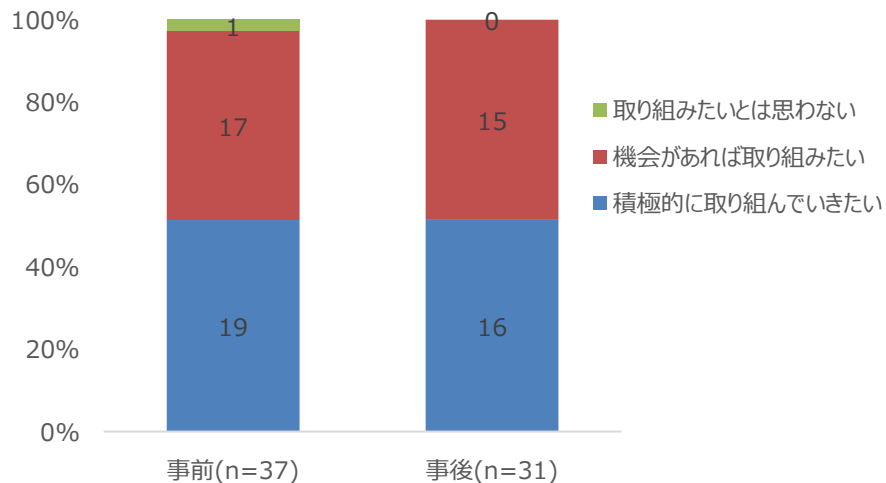
1F廃炉に関して



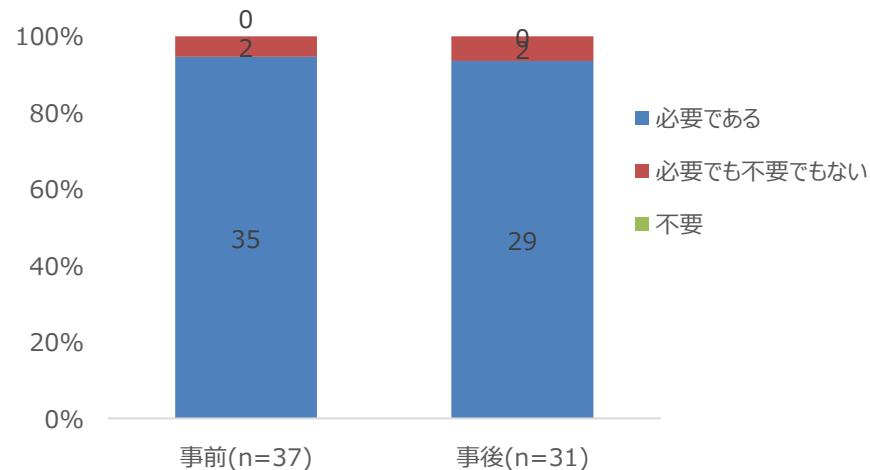
福島の復興に関して



福島の復興に



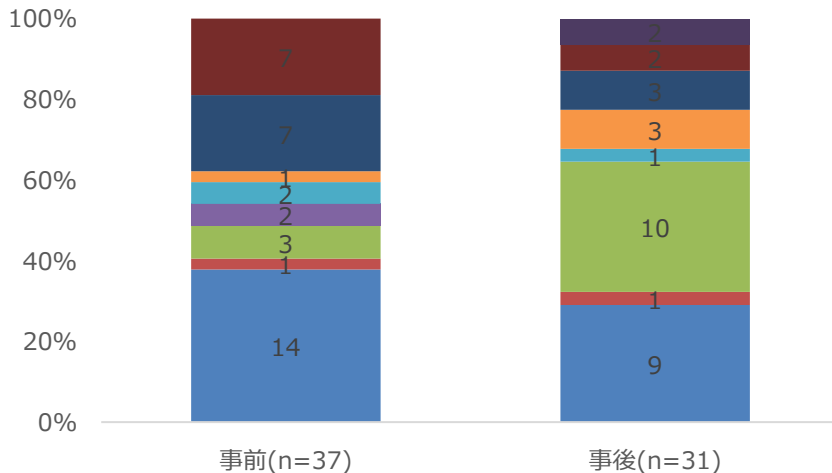
福島の復興において科学的知識が



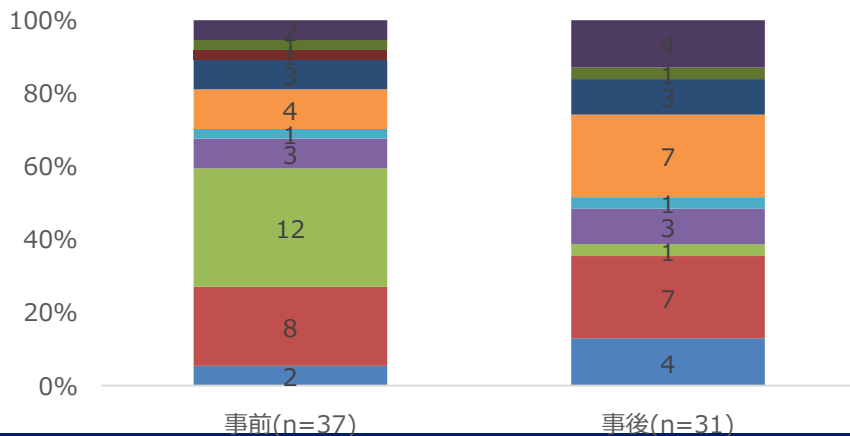
アンケート

【福島の復興および社会と科学的知識について】

1Fに関して知っていることは何ですか？



1Fに関して知りたいことは何ですか？



アンケート

【国際関係】

